

進路だより

—第1号—

令和2年9月17日（木） 福島県立視覚支援学校 進路指導部

学校長あいさつ

視覚支援学校長 橋本 淳一

先日、本校理療科の先生の元へ、黒い立派な表紙の冊子が届きました。

本校を卒業したのち、筑波技術大学大学院へ進学した渡邊健さんの修士論文です。

渡邊さんは、長く中学校の理科教員として働いていましたが、徐々に視力が低下したため、本校の専攻科理療科に入学した方です。

中学校の先生だったわけですから、在学中は他の生徒の良きモデルとして、また、全国盲学校弁論大会で優勝するなどの活躍をされました。

卒業後は、さらに学びを深めようと進学して保健科学を専攻するとともに、福島県内外の中学校や高等学校で生徒に向けた講演活動もなさっています。

さて、コロナ禍の令和2年度進路だより第1号ですが、渡邊さんの話から、あらためて本校児童生徒の進む路（道）について考えてみました。

日本では視覚障がい者の職業といえば、もみ療治とも言われる三療師（あんま・マッサージ・指圧師、鍼師、灸師）を思い浮かべる人が多いかと思います。

しかし、古代から中世（室町時代前半）ごろまでにかけては、僧、祈祷師、琵琶法師が職業として多くなされていたようです。特に、琵琶を伴奏にして平家物語を語る琵琶法師は、多くの方がそのイメージを持っておられるのではないのでしょうか。また、室町時代後期には、瞽盲（ごぜ）と称する弾き語りで歌う女性や、門付（かどつけ）と称して正月に人家の門戸で歌う芸をしてお金をもらう職業もあったようです。

このほかにも、検校（けんぎょう）という言葉をお聞きになったこともあるかと思いますが、江戸時代には、音楽家としての活躍の場も増えていました。箏曲の八橋検校が有名です。

この検校というのは、当時の盲人組織である当道座の最高官位です。ちなみに、同年齢の方しかなじみはないかもしれませんが、「座頭市」の座頭も、官位の一つの名称だったようです。

このように、古くから視覚障がい者は、日本社会の中で大きな役割をなしてきました。

しかし、これからの時代は、多様化の時代です。伝統の職業を大切にしながら、渡邊さんのようにさらに極めていくことも良し。あるいは、自分の可能性を確かめようと一般大学に進んで、困難でも新たな世界に挑戦しようとしている卒業生も多くいます。また、家庭や地域で、もしくは共同生活をしながら、今できることを維持し、さらに力をつけようと頑張る先輩もいます。

学校は、児童生徒の可能性を信じ、児童生徒自身が自分の持つ可能性に気づくことができるような力をつける場だと考えています。今後も、皆様と一緒に路（道）を進んでいきましょう。

.....

1 第28回（令和元年度）あはき国家試験結果

	あん摩マッサージ指圧師		はり師		きゅう師	
	全体	視覚障がい	全体	視覚障がい	全体	視覚障がい
受験者数（人）	1,432	345	4,431	259	4,308	250
合格者数（人）	1,213	233	3,263	150	3,201	146
合格率（％）	84.7	67.5	73.6	57.9	74.3	58.4

2 第28回（令和元年度）本校卒業生の国家試験結果

	あん摩マッサージ指圧師	はり師	きゅう師
合格率(%)	100%（1名中1名）	100%（1名中1名）	100%（1名中1名）



3 進路説明会について

進路指導主事 鈴木 拓也

今年度につきましては、コロナの影響により、保護者や生徒の皆さんからのアンケート調査を実施し、「進路説明会だより」としての情報提供といたしました。今後、配付予定ですのでよろしくお願いたします。

さて、アンケートの調査結果から平均で83.6%が、少なからず進路への不安や悩みがあると出されました。昨年度の進路説明会では、講話と高等部普通科生徒保護者を対象に、相談事業所との個別面談を実施しました。在学中から関係機関と連携を図り、最新の情報や相談先等が分かることで、進路実現にもつながりました。今年度のPTA視察研修には、進路指導主事が同行予定です。早期から御理解いただけるように、情報の発信に努めていきたいと考えます。

最後になりますが、要望等ありましたら遠慮なく御連絡いただきますようよろしくお願い申し上げます。



4 進路週間について

（1） 中学部

中学部2年生2名、3年生2名が6月15日(月)から19日(金)の5日間、前期校内実習を行いました。実習では、紙すき、アロマストーンの作業工程を教師と確認し、丁寧に製品を作ること、時間を守ること、「報告・連絡・相談」をすることなど、働くための意義や姿勢を学びました。自分の課題を明確にすることができ、全員が無遅刻無欠席で実習をやり遂げました。



（2） 高等部

6月15日(月)より26日(金)まで高等部普通科の進路週間を実施しました。1年1組、3年1組生徒は、卒業後の進路目標をもとに、本校理療科の授業見学や理療科教員講話を行いました。3年2組生徒は、生活介護事業所において2日間校外実習を行うとともに、校内でも中学部の生徒とともに校内実習へ取り組みました。

7月1日(水)に高等部進路週間事後学習を行い、進路週間での実施内容や反省、これから進路実現するための目標を、一人一人発表しました。



4 令和元年度卒業生の進路先について

	中学部 1名	本校高等部普通科進学
高等部	普通科 2名	自立訓練 事業所 (県内)
		生活介護 事業所 (市内)
	専攻科 1名	就職：企業のヘルスキーパー (県内)

5 進路指導部 年間計画 (概要)

4月：新入生オリエンテーション、
進路保護者説明会 (各学部)、
前期進路希望調査 (小・中・高)
5月：進路関係機関訪問、進路開拓、
卒業生アフターフォロー
6月：前期進路週間 (中・高)
7月：進路説明会だより
8月：進路面談 (高3)、
職場開拓、後期進路希望調査
(中3、高)

9月：職場・施設見学 (PTA研修)、
進路だより①
11月：後期進路週間 (中・高)、
職場体験 (中)、
国家試験保護者説明会
1月：関係機関との連携、
特別実習 (必要に応じて)
2月：次年度実習先開拓、
移行支援会議 (高3)
3月：あはき免許申請業務

6 進路コーナーの紹介

北校舎1階、児童生徒用昇降口から一番近い相談室に進路指導部のコーナーがあります。学校案内や就労に関するパンフレットなどの一部を掲示してありますので、お時間のあるときにぜひご覧ください。

また、その他の進路について、お聞きになりたいことがありましたら、担任及び各学部の進路担当にお気軽にお声掛けください。

《各学部の進路担当》

小学部・高等部普通科及び全体相談：鈴木 拓也 中学部：中野目未来 理療科：小沢 薫